

卓球男子個人戦 **スポーツ日高**



吉田 優勝



初戦は集中力を欠いたが...

癸生川準優勝



石川・今村も全道へ、団体も全道決定

全試合ストレート
勝ちの完勝!

5月28日(金)、日高高校体育館で定通体連日勝支部予選会・卓球大会の個人戦代替試合が行われた。

今大会では個人戦・団体戦ともに他校のエントリーがなく、団体戦は大会開始前に全道出場が決定。創部以来初の団体での全道大会出場を果たした。

個人戦は四名の出場枠が設けられていたが、こちらも大坪(一年)の棄権により出場者全員の全道大会進出が決まった。

自動的に代表が決まる何とも平和な展開となったが、出場者四名の中で順位を決める必要があったため、日高高校卓球部員による血で血を洗うバトルロワイアルが繰り広げられることになった。

一回戦は吉田(三年)対今村(二年)、癸生川(三年)対石川(三年)の組み合わせ。久しぶりの実戦となったため、それぞれ感覚のズレに苦しんでいたが、吉田、癸生川が見事にストレート勝ちを収め、決勝に進出した。

しかし、この一回戦ではごく一部で笑い合いながら打ち合ったり、大声で騒ぐ姿が見られ、試合終了後部員たちは顧問から厳重注意を受けた。全道大会ではこのような緊張感のない振る舞いは恥ずかしいのでやめてほしい。

決勝では吉田対癸生川というライバル対決が実現。熱戦が期待されたが、ここでも吉田はストレート勝ち。見事優勝を果たした。癸生川は準優勝となったが、本来の実力を出せずじまいだった。全道大会では本領発揮に期待したい。

同時に行われた三・四位決定戦ではスロースターターの石川が今村に対し1セットを落としたが、徐々にスイッチが入り勝利。先輩の意地を見せた。

全道大会では、個人、団体とも悔いのないようにプレーしてほしい。

(文責・小高)